

り 災 証 明 書

年 月 日

世帯主住所		〒 ー		
世帯主氏名				
連絡先				
申請者 (世帯主 と同じ場 合は記載 不要で す)	住所	〒 ー		
	氏名			
世帯構成員 (り災時の世帯)		氏名	続柄	生年月日
被災住家*の所有形態		☐ 持家 ☐ 借家 (賃貸・その他 ())		
建物用途		☐ 住宅 ☐ 併用住宅 (店舗・事務所・その他 ())		

り災原因	年 月 日の による
------	------------

市記入欄	被災住家*の 所在地	
	住家*の被害の 程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない (一部損壊)
	浸水区分	☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

木更津市長 渡辺 芳邦

※本人若しくは同一世帯以外の方が申請者の場合は、下記委任状に記入してください。

委任状	
年 月 日	
木更津市長 渡辺 芳邦 様	
申請者 _____ に	
り災証明書の請求・受領について委任します。	
住所	
申請者	
氏名	印

市確認欄

本人 確認欄	☐ 運転免許証	☐ 保険証	☐ その他
	☐ パスポート	☐ 身分証明書	
	☐ 住基カード	()	
	☐ 在留カード		

個人情報の実施機関内部での利用に同意いただける場合

- ☐ 迅速な被災者支援を行うため、必要な範囲内で、氏名、住所、電話番号、家屋の被害認定調査の調査結果のほか、固定資産台帳等に記載された建物の所在・地番、床面積、構造、図面といった情報を実施機関内部で利用することについて同意します。

自己判定方式(写真による判定)により交付を希望する場合

- ☐ 「準半壊に至らない(一部損壊)」の被害の程度に同意し、自己判定方式によるり災証明書交付を申請します。
自己判定方式の場合、現地調査は省略し、持参いただいた写真で被害判定を行います。